様式第２号

申 出 書

私、　　　　　　　　　　は、平成30年7月豪雨のため住家が半壊しております。

住家を修理する資力が下記の理由のとおり不足するため、応急修理を実施いただきますようお願いします。

記

※世帯の収入の状況、資力が不足する理由を具体的にご記入ください。

平成　　年　　月　　日

申出者 現住所

被害を受けた住宅の所在地

　新見市

　 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　印

様式第２号

申 出 書

記入例

私、　新　見　太　郎　　は、平成30年7月豪雨のため住家が半壊しております。

住家を修理する資力が下記の理由のとおり不足するため、応急修理を実施いただきますようお願いします。

記

※世帯の収入の状況、資力が不足する理由を具体的にご記入ください。

例1：年金収入のみで余裕がないため、応急修理を実施できる資力がありません。

例2：日常生活費やローン支払いなどで余裕がなく、応急修理を実施できる資力があり

ません。

例3：勤務していた会社が被害を受け収入がなくなったため、応急修理を実施できる資力がありません。

例4：介護が必要な母（父）がおり、介護費用などの出費で余裕がなく、応急修理を実施できる資力がありません。

平成３０年　７月××日

申出者 現住所　　新見市高尾＊＊＊番地

被害を受けた住宅の所在地

　　　　　新見市新見＊＊＊番地

　 氏名　　新　見　　太　郎　　　　　　　印